

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
 全体評価表（令和5年度上半期）

評価項目	総合評価
1 地域包括ケアシステムの深化・推進	
(1) 自立支援、介護予防・重度化防止の推進	B
(2) 介護給付等対象サービスの充実・強化	B
(3) 在宅医療の充実および在宅医療・ 介護連携を図るための体制の整備	B
(4) 日常生活を支援する体制の整備	B
(5) 高齢者の住まいの安定的な確保	B
2 認知症施策の推進	
認知症施策の推進	A

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

全体評価
B

担当部署評価
令和5年度上半期においては、全体的におおむね達成できた。 感染症の影響に左右されずに、各事業が実施できている。今年度、第9期高齢者総合計画を策定するにあたり、上半期で把握した課題については計画の策定に反映できるようにしていく。

（評価委員会評価は裏面に記載）

評価委員会評価

担い手不足等いろいろな課題があることを再認識し、その中で誠実に取り組んでいることは評価できる。引き続き、多職種連携や福祉団体等と協力しながら、施策や事業を進めてほしい。また、住民一人ひとりが健康であるために介護予防を行うよう繰り返し周知することも大切である。

第9期計画策定に向けて、評価委員会での助言を反映し各施策や事業について検討してほしい。また、各施策や事業の優先度を示すことも考慮してほしい。また各評価指標の目標値について、数値にする根拠を記載してほしい。

令和5年度下半期の評価委員会では、下半期評価と第8期計画の全体評価も含めて検討していく。